



Title	シェイクスピア劇の仕掛け : 「十二夜」の2人の女性
Author(s)	宮下, 弥生
Description	上 : 2010年9月14日夕刊掲載 下 : 2010年9月15日夕刊掲載
Citation	北海道新聞
Issue Date	2010-09-15
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/43947
Rights	北海道新聞社許諾D1009-1103-00006831 本著作物は、北海道新聞社の許可のもとに掲載しています。
Type	article
File Information	miyashita_3.pdf, 下



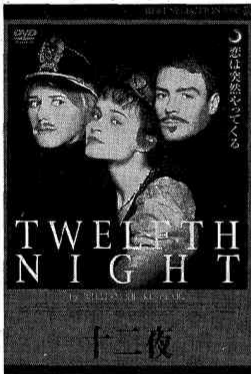
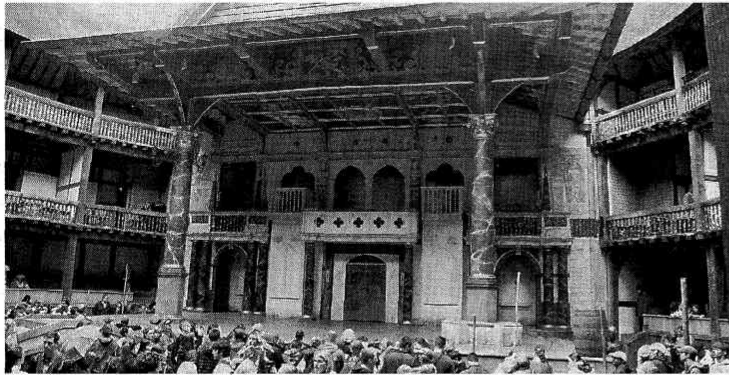
シェイクスピア劇の仕掛け

「十二夜」の2人の女性

宮下 弥生

シェイクスピア劇は基本的に登場人物一人一人の思いを表現する科白の連続のみから成り立つのだが、そこには劇の効果を狙った仕掛けが別次元で組み込まれているのだ。「十二夜」の主人公の一人、ヴァイオラは難破してイリアの海岸に打ち上げられ、男装してこの土地の公爵オーシーノに仕えることになる。このオーシーノは女伯爵オリヴィアに求愛しているのだが、1幕4場、ヴァイオラは仕えて3日目だというのに、すでにオーシーノを好きになってしまっている。一方のオーシーノにとっても、ヴァイオラは他の家臣たちを退け、一番お気に入りの家臣となっている。だが、オーシーノは、男装してシザリオと名乗るヴァイオラに女性的なものを認めつつも、まさか女性だとは思わず、自分が愛するのはオリヴィアだと信じて疑わない。

公爵 だれか、シザリオを見かけなかったか？
 ヴァイオラ ここに控えております、公爵。



④復元されたグローブ座（ロンドン）。グローブ座では数多くのシェイクスピア劇が上演された⑤恋の三角関係を繰り広げる（右から）オーシーノ公爵、オリヴィア、男装したヴァイオラ＝映画「十二夜」のDVD

報われぬ恋心 雄弁に表現

ヴァイオラの男装

公爵 ほかのものはさがつておれ—シザリオ、おまえにはすべ

をうちあげた、おれの胸の秘密の罪をおまえにだけは開いてみせた。／そこで頼みがある、あの人のところに行ってくれ、／ことわられても門の前を離れるんじゃない、／お目どおりがかなうまでは足に根が生えても／動きませんと言うの

だ。そして、ヴァイオラはオーシーノの使いとしてオリヴィアの屋敷に行き、オリヴィアは男装したヴァイオラに一目惚れしてしまう。こうして、「十二夜」の恋の三角関係へオーシーノ↓オリヴィア↓ヴァイオラ（シザリオ）↓オーシーノは形成される。最後に、難破で生き別れになったヴァイオラの双子の兄セバスチャンが登場して一気に問題が解決するまで、劇

恋をだれにも言わず、／なたも存じのはず。胸に秘めて、つぼみにひそむ虫のような片思いに／バラの頬をむしばませたのです。そして次第に／やつれていき、病み着ぎめた愛いに沈みこみ、／それでも石に刻んだ「忍耐」の像のように、悲しみにほほえみかけていました。これが愛です、まことの。……公爵 それで恋ゆえに亡くなったのか、父上の娘御は？
 ヴァイオラ いまは私の気持ちを「父の娘」の気持ちにすり替えることでなんとか表現しても、男装ゆえにオーシーノの心には届かない。だが、ヴァイオラの男装を知らされている観客／読者は、ヴァイオラの切ない恋心、信念を曲げない意志、そして、その想いが決してオーシーノの心には届かない事実、すべてを同時に味わうことになる。ヴァイオラにとっ

中、それぞれが報われない恋心を吐露するのだが、ヴァイオラだけは男装しているため自分の恋心を直接表現することはできない。2幕4場。ヴァイオラ 私の父に娘がありまして、ある男を愛しました、／私が女で抱いたであろうような、深い愛でした。公爵 どうなった、その恋物語は？ヴァイオラ 白紙のままです。自分の

一人となりました、父の娘も、息子も。はつきりしたことはまだわかりませんが、……
 観客／読者はヴァイオラの男装の事実を知っているため、「父の娘」とはヴァイオラ自身であることがわかっています。「私の父に娘がありまして、ある男を愛しました」として、ある男を愛しました（↓私はあなたを愛しているのよ）、私が女でしたらきつとあなた様を抱いたであろうような、深い愛でして（みやした・やよい―北大）仕えている私の深い愛はあ

道新文化センター提携講座・コーチャングローブアカデミー教室で、宮下さんは「シェイクスピアへの招待―『ハムレット』を読む」（10月6日頃から）の講師も務める。申し込みと詳細は同センター ☎011・241・0123へ。